災害伝承の取組事例(H3O年度) 広島市立戸山中学校 6 広島県



要

戸山探検(遠足を活用した防災教育) 過去の被災状況を地域の方から子供達に伝える 砂防ダム等の現地見学、避難所・雨量観測局の確認



避難所宿泊訓練「夏休み」 地域のハザードマップ作り (家族で確認)



学校や地域の祭り でマップを披露 (地域で確認)

(1) 実施日

平成30年4月25日 戸山探検(砂防出前講座)

受講風景

- (2) 対象者 広島市立戸山中学校(中学1年生)
- (3) 内
- 広島県の過去の土砂災害
- ・昭和26年ルース台風の被害
- 平成11年6.29豪雨災害(戸山地区)の被害
- ・砂防ダム等の防災施設の見学
- •避難場所•雨量観測局現地確認

「地域の砂防情報アーカイブ」に登録されている地域の災害記録



平成11年6月29日豪雨災害の記録

昭和26年ルース台風の記録

【知る】土砂災害を知る



【察知する】雨量観測局の役割



【知る】地域の砂防ダム現地見学



【学ぶ】渓流保全工の役割



【過去の災害を学ぶ】「地域の砂防情報アーカイブ」を活用した地域の災害伝承





生徒さんの感想

- 自分が住んでいる身近な地域で過去にこんな大き な災害があったことを初めて知りました。
- 砂防ダムの役割を学んで、自分たちが住んでいる 地域が守られているんだと実感しました。
- 雨が降ったら、情報を集めて、いつでも避難出来る よう、日頃から災害への備えが大切だと思いました。
- 家でも災害のことを家族で話し、調べてみようと思 いました。